

人文公共学府講演会

かつらやま こうじ
京都大学 桂山 康司 教授

歴史と文化・教養 ——文学の視点から見た学際

日時：2020年3月3日（火）16時から

場所：人文公共学府総合研究棟2階
マルチメディア会議室

講演概要

「歴史学」は、「哲学」がそうであるように、一学問分野として、「法学」や「物理学」とは異なるところがあるようだ。

この問題について、「文学史は可能か」という問いかけを皮切りに、さらには、“history,” “philosophy,” “culture” といった言葉の成り立ちの確認作業を通じて検討を加え、そこから、学問における学際的契機の必要性と、その特質について、考察を深めたい。

講師紹介

専門は英詩、英文学。ミルトンやホプキンス、韻律論、詩学、英語教育、言語教育などを中心に研究している。



研究テーマ

文学研究における表現の特異性への着目は、単に文学にとどまらず多様なテキストの独自性の追求に寄与し、複眼的思考力涵養の場である教養教育においても生かされることを実感している。

具体的には、「文化」概念の形成過程や、科学的知に代表される「ロゴス」に対する文学的な知のあり方としての「ミュトス」の再評価など、多様な知のあり方の相互関係に興味があり、研究と教育が一体となった知の実践を目指している。

略歴

1984年3月 京都大学大学院文学研究科修士課程修了
1991年4月 京都大学教養部助教授
2015年4月 京都大学大学院人間・環境学研究科教授

主催：人文公共学府
お問い合わせ先：人文公共学府教育支援室
Tel：043-290-3823
E-mail:ghss-spigse@office.chiba-u.jp

共催：文学部